年間授業計画　様式例

高等学校　令和8年度（３学年用）　教科　国語　科目　文学国語

教　科：　国語　　科　目：　文学国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A 組～　E 組

教科担当者：（A組：石黒）　（B組：石黒）　（C組：石黒）　（D組：古宮）　（E組：古宮）

使用教科書：（ 筑摩書房「文学国語」 ）

教科　国語　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】心の機微を理解するための語彙力を養い、文学的文章の特徴や表現技法などの理解ができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】心情や情景描写を捉えると共に、ものの見方や感じ方、考え方を深めることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】日本の文学や伝統文化に広く関心を持たせるとともに、言語活動に向かう態度を養う。

科目　文学国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
心情に関する語彙や文体の特徴や修辞などの表現技法、社会や文化的な背景などに関する知識の理解ができる。	作者の視点に触れて、ものの見方・感じ方・考え方を理解すると共に、自ら想像し批評し考えることができる。	日本文学、日本文化、国語に対する意欲関心を高め、言語活動に向かっていくことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	安部公房『鞄』	単元「交差するドラマ」 【知識及び技能】 小説の持つ表現力の広さについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 フィクションの多様性を楽しみながら、人生や社会についての考えを深めさせる。	○		○	【知識及び技能】 ・一連の匿名性に留意し、それが作品に与えている効果を考えている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・青年にとっての「鞄」の意味と、「鞄」に対する「私」の関心の変化を読み取り、「鞄」が何を象徴しているかを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「嫌になるほど自由」とはどのようなことか。「鞄」の働きに注意させて、「自由」について考えている。	○	○	○	10
	定期考査			○			○	○		1
	森鷗外『舞姫』	単元「交差するドラマ」 【知識及び技能】 複合的な文体を持つ特殊な「語り」に気づかせ、小説の可能性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 古典的な主題解釈にとらわれることなく、登場人物の言動を相対化させ、内面的な葛藤にも注目させる。 【学びに向かう力、人間性等】 音読を取り入れることによって、明治の文語体が持つ魅力について理解を深めさせる。		○	○	【知識及び技能】 ・回想する現在から、「過去」がどのように位置づけられていくのか、という視点から、豊太郎自身の変化を推理している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・エリスの豊太郎に対する心情を整理させ、豊太郎の生き方をそこから相対化している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・権力や友情、親との関係などに見られる豊太郎のなかの依存心と「真の自分」との葛藤を読み取らせたうえで、「自分とは何か」という豊太郎の自己へのまなざしを対立化させている。	○	○	○	14
	定期考査			○			○	○		1
2学期	太宰治『水仙』	単元「文体がひらく世界」 【知識及び技能】 文体の特徴や、その文体が生み出す効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品が提示する普遍的なテーマについて、共感を持って対象化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の生き方や姿勢などに目を向けさせ、人生について考えを深めさせる。		○	○	【知識及び技能】 ・「静子夫人」の経歴や境遇の変化をたどり、人物像をまとめている。 ・小説家「僕」が自分について述べている事柄や、夫人の態度に対する「僕」の反応などから、「僕」の人物像をまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「僕」の心情の変化を押さえたうえで、夫人の絵を引き裂いた理由を考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品から浮き彫りになる、あるべき芸術家像について考え、各人の生き方や姿勢について目を向けている。	○	○	○	10
	定期考査			○			○	○		1
	魯迅『藤野先生』	単元「小説の可能性」 【知識及び技能】 作品の背景にある社会状況や時代状況を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分にとっての異文化・異なる背景をもつ他者とのかかわりについて、本文の内容を踏まえて考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の枠組みを超えて小説が広げていく可能性を考えさせる。□ □	○		○	【知識及び技能】 ・作品の背景にある社会状況や時代状況を踏まえ、「私」の行動や心情を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「私」が進路を変える契機となった事柄を押さえ、「私」の行動や心情がどのように変化したかを考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者にとって藤野先生はどのような存在だったのかを考えている。	○	○	○	14
	定期考査			○			○	○		1
3学期	共通テスト対策演習	共通テストの問題演習を通じて、大学がどのような力を持った学生を入学させたいのかを理解する。		○	○	【知識及び技能】 現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	9
	入試問題演習			○	○		○	○	○	9
										合計